

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束適正化委員会や虐待防止委員会の開催はできているが、いつ、誰が、どこで、何を、どのように検討し話し合ったかを記録に残す事 職員周知が明確になるような実施記録のファイリングが出来ていない。	年間研修計画に掲げた研修内容の確実な実践と実施した内容を職員に周知させること。且つ、実施した研修内容の記録の整備とホーム内での整備/管理が行えるようにする。	事業所全体で行われる研修には1名程度しか参加できていないため研修に参加したホーム職員が持ち帰りホーム内で研修内容をアウトプットできる時間を作成する。そのことで職員間での周知と実施記録の作成を行ってみる。	12ヶ月
2	35	事業所内での火災想定消防活動は、行っているが火災も含めた災害時の避難を想定した訓練は昼夜間問わず実施できてない。今後地域との協力体制も整備し入居者や地域住民の協力を得、安全性を確保していく必要がある。	災害時のために芦屋市の周辺施設への応援体制を整えておく。また昼夜を想定した避難の経路確認を含め避難体制を整えていく。	本年度より芦屋市のグループホーム連絡会も5月より再開するため今後の議題として話し合う。BCP災害事業計画を作成のもと今年度2回の避難訓練を年間研修計画に入れる。	12ヶ月
3	14	コロナ渦ではあるが事業所と地域との交流や意見交換ができる機会がない。	近隣の事業者同士協働しながらグループホームの質の向上に取り組んでいく。	外部研修や他施設の見学、意見交換、交流など積極的に参加する。今後、地域の行事に参加できるよう話し合いを続けていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。